

会 議 録

(4-1)

会議の名称		令和7年度 第2回 庄和地区地域づくり推進協議会	
開催日時		令和7年12月3日（水曜日）	開 会 午前10時00分 閉 会 午前11時17分
開催場所		庄和市民センター正風館 2階視聴覚室	
議長(会長等)氏名		会長 細谷 悟	
出席者	委員氏名	(出席人数： 10 人) 細谷 悟、森田 伝、嶋村 清、木村 亜人、新井 勝、松原 睦、磯村 幸一郎、小川 直美 早坂 総、坂本 宏子	
	説明者事務局	(出席人数： 3 人) 市民生活部長 飯口 信彦、庄和市民センター 川辺 孝、根本 護	
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		1 開会 2 あいさつ 3 協議事項 （1）庄和地区の活性化に向けた取り組みについて 庄和地区を「よりよい地域」に活性化していくためには、何が必要だと思いますか （2）今後のスケジュールについて 4 その他 5 閉会 ※(すべて公開)	
一部公開・非公開の場合はその理由		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：	
配布資料		資料1 庄和地区の活性化に向けた取り組みについて（意見集約シート）	
会議録の作成方法		<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録	
会議録署名の指定		会議録の署名は、会長から指名を受けたものが実施する。	

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
会 長	<p>【1. 開 会】</p> <p>【2. あいさつ】 《細谷会長挨拶》 議事録署名人として木村委員を指名。</p>
事務局	<p>【3. 報告事項】</p> <p>《資料に基づき説明と報告》</p> <p>1 庄和地区を「よりよい地域」に活性化していくためには、何が必要だと思いますか」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人それぞれ考え方に違いがあるので、委員の統一した見解は難しいのではないかと。 ・まずはよりよい地域とは何かを十分に時間をかけて、議論して行くべき。 <p>2 (回答1 関連)「そのために私たち地域でできる取り組みがあれば教えてください」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄和地区のあるべき姿、庄和地区がこうあればよいといった将来計画的な青写真的なものも作成した方が、ちょっと動きやすい考えやすいのではないかと。 <p>《事前提出された委員の意見を集約した上で》「より良い地域庄和地区のより良い地域の定義が、人それぞれであるため、ここでは、よりよい地域という表現が曖昧であるということ、なかなか話し合いが難しいのではないかと。」という観点から、仮のものとして、(よりよい地域づくりを)『庄和地区内の交流の活性化』と定義、とりわけ地域内のさまざまな世代の方々が交流する地域のイベントの開催と定義した。</p> <p>令和8年中に庄和地区内で、具体的に地域交流を図れるようなイベント事業、実施可能な事業、携われるようなイベントについて、皆様にご意見を伺いたい。</p> <p>個別具体的な例として、学校の子供たちと高齢者の方々が連携して、技術や文化の継承を目的とした交流イベント事業を定期的に開催し、交流を図ることによって、更なる庄和地区の活性化につながるのではないかと考えたところである。</p> <p>イベントが決まったら、開催日時や目標、企画、目的、会場、対象やスケジュール、課題等を決め、令和8年度中に実施したいので、審議会の中で意見の交換を行いたい。</p>
委 員	<p>マラソン等の地域のイベントについては、学校として積極的に関連、参加させている。中学生とはいえ、地域の担い手となる年代になると思われるので、地域の防災訓練等にも積極的に参加していきたい。また、学校の公式ホームページの日々のアクセス数がかなりの数値となっているので、地域のイベント等の周知等に学校のホームページを利活用していただければと思う。</p> <p>(世代間交流について)ちょうど開校して80周年を迎える。最初の卒業生は95歳になるので、現役の生徒と交流させることも検討している。</p>
委 員	<p>(庄和地域では)大風揚げとか大風マラソンとかがあり、見学の方も集まっているが、体育祭などは集まりにくい状況である。風なども見学だけでなく、こう作る等交流が図れるものになればよいと思う。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委 員	<p>実際に地域で何かをやらう、例えば防災訓練をやらうという話になっても、地域が新しいイベントを始めようとするのはすぐ力がある。誰が何をやるのか等手が挙がらず、実際に地域においても役員のなり手がいない状況である。</p> <p>若い世代と高齢者が集まるイベントには体育祭があり、(限定や制約をせず)様々な考え方が出来ると思う。</p> <p>世代間交流が出来るイベントして体育祭があるが、年々参加者が減少している。体育祭の参加者を増やしていける方法を検討したらどうかと思う。</p> <p>一年で終わってしまうイベントではなく、それをずっと伝承していけるようなイベントが良いのではないか。</p>
委 員	<p>全体が集うイベントだと、体育祭や公民館まつりがあるが、公民館まつりは個人や各サークルが集まって準備していくという今の時代に合ったスタイルになっている。</p> <p>(そのような中でも)イベントを企画したり実施したりすることは膨大な負荷がかかる。よって、(新たなイベントよりも)今あるイベントを何とか活かしていくか、支援していくかに尽力したほうが、継続性の面からも良いと思われる。</p>
委 員	<p>意見として、行きたくなるイベント、やっぱり一番皆が行ってみたいなって思えるのをやるのが一番いいとは思いますが、それに到達するにはどうしたらよいかと言ったら、まずこの地区に住んで何を求めているのか、何が楽しいと思っているのかということを知ったら、もっと取りやすいのではないかと思います。</p> <p>具体的には、私は行ったことないが、井戸端サロンという、50代以上の方が参加出来て、お話する催しが月に2回あって、参加したいと思っている。</p> <p>フリーでどうぞ皆さんきてくださいってメールして、お話ししましょうっていう催しもっと数多く開催されたり、もっと年齢制限が50からじゃなくてもフリーだったりしているんな方が自由にして、お茶飲んで帰って、どうぞっていうのがいくつかあったら、そこでまた、本当に何を求めているのかっていうのが、分かっていたら、もっと良いものが作れるんじゃないかと思っている。</p> <p>知らないということが多いのかと思うので、そういう情報をまず知ってもらおうといった知恵を互いに活かせるような関係を作っていくということが、まず始めだと思う。</p> <p>私の考えは、北はハルカイト、南は南公民館、そこでみんなが自由に集まれる、誰が来てもお茶飲めるような、昔の公民館じゃないけど、そういうものをやらない限りは、情報共有もできません、情報の発信もできません、何やってるかわかりません、というのが、今の現実である。</p>
委 員	<p>やはり、新しいイベントという問題ではなく、みんなが集まれる場所(の構築)を。庄和の何がいいか、これでしょうって言うのは難しい。北南中で、北の(方々の)特色を把握した集め方をしなければ、(現状の)集まりはよくない。</p> <p>イベント等についてももう実際いろいろ発信しているし、イベントは合併の前からも行われている。</p> <p>やっぱりみんなが地域の中で集まれる場所、そこで情報共有ができる場所、そこには</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	<p>何があるかっていう、そこからスタートしてないという問題は絶対に解決しないと思われる。</p> <p>学校間でも「地域に協力します」という一方で、「働き方改革で参加出来ない」という矛盾が生じ、教員間でも温度差を感じている。</p> <p>単純にイベントを開催すればよいと押しつけることが結論として難しくなる。そして、(何を行うにしても)ある程度の労力は必要となる。</p>
委 員	<p>さまざまな団体やクラブがあり、イベントも行われている。公民館にて、団体情報を集約し、何かをやりたいと希望し探している人が、公民館に来れば、団体の情報を伝えてもらえるような運営、組織づくりが出来れば面白いと思う。新しいことを考えるよりは今やっているイベントでもパワーがある。</p>
委 員	<p>現在、葛飾中学校の体育館が使えない状況で、他の体育館の使用を希望するにしても、とにかく空きがない。そういう状況で団体の繋がりやスポーツ推進課等にも掛け合ったりしたが、構造や実態がいまいよくわからない。</p> <p>少年野球のチームと花を植える活動を行っている団体があり、親御さんや未就学児の子ども、その知り合いも参加していて、SNS等にもあげられているので、そういう活動や団体もリストに挙げ、発信していけばよいができていない。</p>
委 員	<p>高齢者憩いの家についても、予約せずともカラオケや囲碁・将棋、マッサージをやったりできるとのことで、利用したいという相談が寄せられている。</p>
委 員	<p>ピンポイントでイベントということで交流授業の話をさせていただいた。今日の話を整理していく中で、新たなものではなく、今までのもの、既存のものを活用していくということについては、皆さん合意できたのかなと思っている。</p> <p>体育祭であったり、公民館まつりであったり、そういうものにコラボしていくような話もあったり、清掃活動の話もよいと思った。8年度に向けては、既存の事業を活用するという結論で良いと思われる。</p>
議 長	<p>様々な既存のイベントといろいろなボランティアをどうコラボしていくかということをし少し考えていただきたい。次回までの宿題ではないが、高齢者と若者がこういったものでこういう風と一緒にできることを提案いただき、ご意見をいただくと進んでいくのではないかと思う。</p>
事務局	<p>(次回の会議の日時、会場を提案し、承諾される)</p>
議 長	<p>本日の議事はすべて終了となる。これをもって、本日の議長の職を解かせていただき、進行を事務局にお返しする。</p> <p>※議事終了、傍聴人退席</p>
事務局	<p>【4. 閉会】</p>
<p>議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和7年12月10日</p> <p>署名者の職 ・ 氏名</p> <p style="text-align: right;">庄和地区地域づくり推進協議会</p> <p style="text-align: right;">委 員 木村 亜人 (原書は自署)</p>	